

◎外海ラーバ調査（常呂漁協による調査）

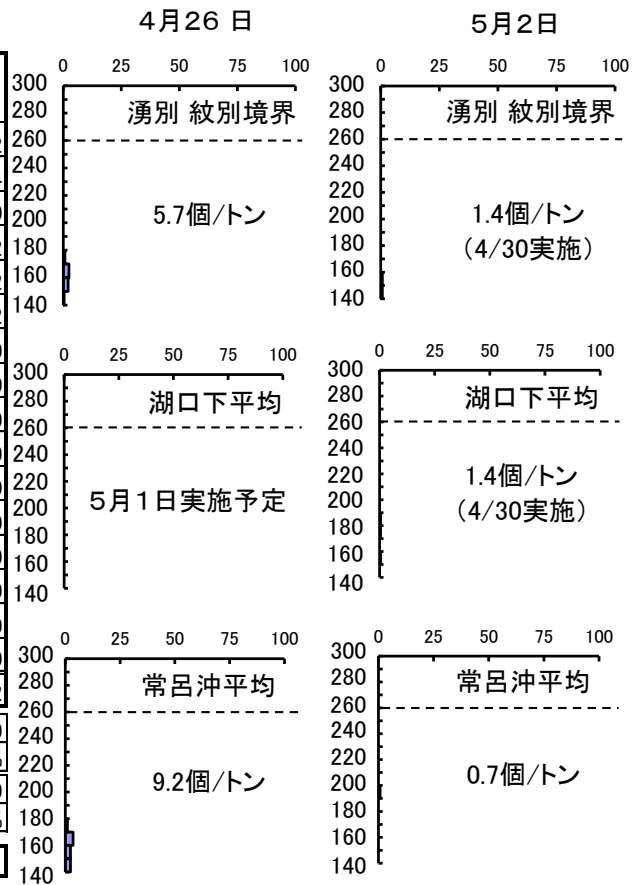
調査の結果、常呂漁港沖で平均0.7個/トンのホタテガイラーバが確認されました。サイズは190 μ mの小型個体で、260 μ m以上の付着サイズは見られませんでした。

水温は常呂漁協沖底層で2.8 $^{\circ}$ Cで前回調査時よりも低下していました。サンプル海水は依然として植物プランクトンによる濁りが見られました。

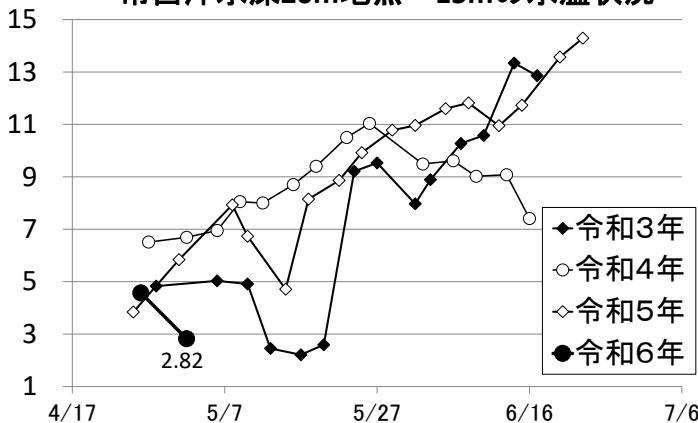
次の調査は7日(火)実施予定です。

外海ラーバの出現状況

	湧別紋別境界	第1湖口沖下側	常呂漁港沖	平均
140 ~ 150	0.7	0.0	0.0	0.2
150 ~ 160	0.7	0.5	0.0	0.4
160 ~ 170	0.0	0.0	0.0	0.0
170 ~ 180	0.0	0.5	0.0	0.2
180 ~ 190	0.0	0.5	0.0	0.2
190 ~ 200	0.0	0.0	0.7	0.2
200 ~ 210	0.0	0.0	0.0	0.0
210 ~ 220	0.0	0.0	0.0	0.0
220 ~ 230	0.0	0.0	0.0	0.0
230 ~ 240	0.0	0.0	0.0	0.0
240 ~ 250	0.0	0.0	0.0	0.0
250 ~ 260	0.0	0.0	0.0	0.0
260 ~ 270	0.0	0.0	0.0	0.0
270 ~ 280	0.0	0.0	0.0	0.0
280 ~ 290	0.0	0.0	0.0	0.0
290 ~ 300	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	1.4	1.4	0.7	1.2
200 μ m以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
260 μ m以上	0.0	0.0	0.0	0.0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
イガイ	0.0	0.0	0.0	0.0



常呂沖水深20m地点 -15mの水温状況



外海水温(水深20m地点)

水深	湧別境界	常呂漁港沖
0m	4.58	3.64
5m	3.27	3.34
10m	2.35	2.94
15m	1.21	2.82
底	1.15	2.80

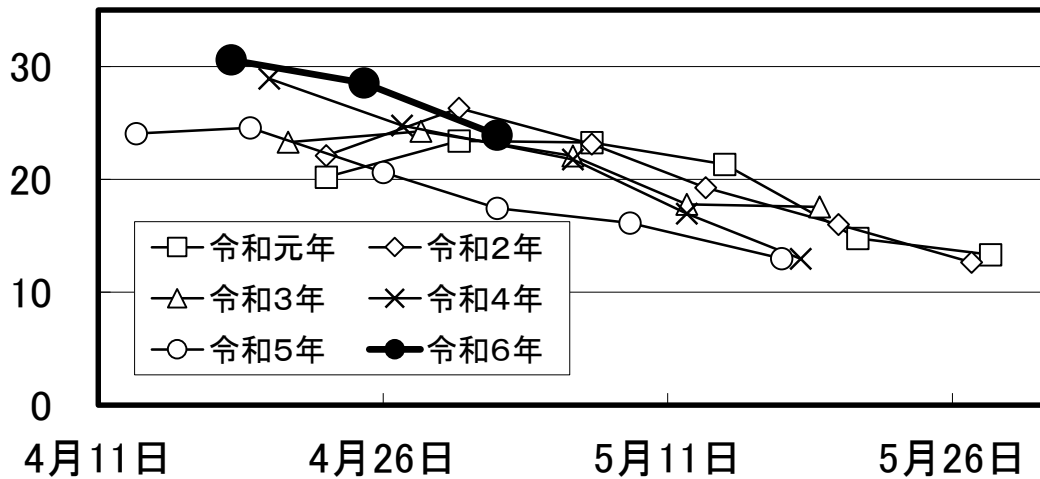
(4/30実施)

◎生殖巣熟度調査

5月2日に養殖ホタテガイの生殖巣熟度調査を行いました。その結果、養殖員の生殖巣熟度指数（軟体部に占める生殖巣の割合）は先週の28.5%から23.9%に大きく低下していました。

次回の調査は8日(水)に実施予定です。

養殖員平均



◎他地区の情報（水産技術普及指導所提供）

・浮遊幼生（ラーバ）調査

- 苫前 4/30 出現数：27.4 個/トン サイズ：130~240 μm
- 羽幌 4/30 出現数：30.8 個/トン サイズ：130~280 μm
- 遠別 4/30 出現数：86.0 個/トン サイズ：130~250 μm
- 雄武 4/30 出現数：0.7 個/トン サイズ：180 μm
- 沙留 4/30 出現数：0.4 個/トン サイズ：150 μm
- 紋別 5/1 出現数：なし

オホーツク海沿岸水温(°C)

水深 (m)	4/30 雄武		4/30 沙留		5/1 紋別 20m地点
	20m地点	25m地点	上 20m地点	下 20m地点	
0	5.9	6.2	5.2	5.1	4.5
5	6.1	5.7			4.5
10	5.6	5.7			4.5
15	5.5	5.6			
20	5.5	5.7			
25		5.7			